

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称		可児市下水道整備計画（防災・安全）																
計画の期間		平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象		可児市									
計画の目標		下水道整備を行い、快適な生活環境の確保を目指す。																
計画の成果目標（定量的指標）		①下水道による都市浸水対策の達成率を78.1%（H22末）から78.8%に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考								
							当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)									
① 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）							78.1%	78.5%	78.8%									
② 長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定した件数／長寿命化計画策定すべき件数							0.0%	0.0%	100.0%									
③																		
④																		
全体事業費		合計 (A+B+C)	361 百万円	A	361 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%							
○事後評価の実施体制、実施時期																		
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期												
可児市建設部・水道部内において実施						平成28年 9月												
						公表の方法												
						ホームページで公表												
事後評価																		
1. 交付対象事業の進捗状況（○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入） -：その他（備考欄に具体的に記入（中止、未実施等））																		
交付対象事業																		
A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H23	H24	H25	H26	H27			
A1-1-2	下水道	一般	可児市	直接	可児市	分流	新設	川合地区雨水支線工事（浸水対策）	U1000×1000・1000×700L=239m	可児市						29.1	○	
A1-1-3	下水道	一般	可児市	直接	可児市	分流	新設	土田東山雨水支線（浸水対策）	VS600×500～800×800 L=102m	可児市						13.5	○	
A1-1-4	下水道	一般	可児市	直接	可児市	分流	新設	伊川雨水幹線整備工事（浸水対策）	□1200×900 L=88m	可児市						20.9	○	
A1-1-5	下水道	一般	可児市	直接	可児市	分流	新設	土田今渡地区雨水支線（浸水対策）	U1000×700 L=186m VS700×1500L=278m	可児市						50.9	○	
A1-1-7	下水道	一般	可児市	直接	可児市	分流	新設	今渡住吉雨水支線（浸水対策）	□900×900 L=396m	可児市						85.5	○	
A1-1-8	下水道	一般	可児市	直接	可児市	分流	新設	下恵土第3雨水幹線支線（浸水対策）	VS600×500～800×800 L=109m ホ-ブ>900×1200～1000×1200 L=308m	可児市						54.2	○	
A1-1-10	下水道	一般	可児市	直接	可児市	分流	改築	長寿命化計画策定（管渠）	実施計画策定	可児市						20.8	○	
A1-1-11	下水道	一般	可児市	直接	可児市	分流	新設	中恵土第4雨水幹線（浸水対策）	□1000×1000L=117m □1200×1000L=164m	可児市						85.6	○	
											合計		360.5					

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。
 (参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業
 (別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 川合、土田、下恵土、中恵土、今渡地区の人口密集地の雨水支線・幹線整備により、下水道による都市浸水対策達成率が79.1%となった。また、雨水をすみやかに排除できるようになり、家屋等浸水被害の軽減に寄与した。 汚水マンホール蓋交換2,255基、マンホールポンプ制御盤交換86基の長寿命化計画を策定した。策定した計画に基づく、計画的な維持管理と施設の延命化が可能となった。 									
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道による都市浸水対策達成率)	最終目標値	78.8	目標値と実績値に差が出た要因	目標値達成。						
		最終実績値	79.1								
	指標② (長寿命化計画策定率)	最終目標値	100	目標値と実績値に差が出た要因	目標値達成。						
		最終実績値	100								
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値									
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因								
	最終実績値										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)											

3. 特記事項 (今後の方針等)

- 雨水幹線や雨水貯留浸透施設の整備を引き続き進めることで、近年多発する集中豪雨の浸水被害を軽減する。
- 下水道施設 (汚水) の長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理と施設の延命化を図る。

(参考図面) 防災・安全交付金

平成 26年3月25日

